

ワクチン3回目接種

[医薬品安全性情報 Vol.19 No.24 \(2021/11/25\)](#)で特集として取り上げた免疫機能が正常な人へのブースター接種と、免疫低下状態の人への追加接種は、いずれも3回目接種(third dose)と呼ばれることがあるが、意味が異なるため注意が必要である。2021年10月4日付「ComirnatyとSpikevax:追加接種およびブースター接種に関するEMAの推奨」には、以下のように記載されている。

<https://www.ema.europa.eu/en/news/comirnaty-spikevax-ema-recommendations-extra-doses-boosters>

“Comirnaty (BioNTech/Pfizer) およびSpikevax (Moderna)を、2回目接種から28日以降に、重度の免疫低下状態の人に追加接種(extra dose)することができる。(中略)18歳以上に対しては2回目接種から6カ月以降にブースター接種(booster dose)を検討してもよい。”

なお、追加接種をWHOおよび米国では“additional dose”, 欧州では“extra dose”と呼ぶ。

2021年10月4日付「ブースター接種に関する暫定声明」では、WHOは以下のように定義している。

“ブースター接種:プライマリーシリーズ(製品によってCOVID-19ワクチンを1回または2回接種)の接種完了者に対して、時間の経過とともに免疫や臨床上の防御効果がその集団において十分と判断されるレベルより低下した場合に行われる。ブースター接種の目的は、十分ではないと判断されたワクチンの有効性を回復させることである。

追加接種:標準的なプライマリーシリーズ接種後の免疫応答率が十分ではないと判断された集団に対しては、プライマリーシリーズの延長として、追加接種が必要になることがある。プライマリーシリーズでの追加接種の目的は、疾患に対する十分な有効性を確保するために、免疫応答を最適化または強化することである。特に、免疫低下状態の人は、標準的なプライマリーシリーズ接種を受けても防御に十分な免疫応答が得られないことが多く、また、高齢者も標準的なプライマリーシリーズ接種への応答が低いことがある。”

<https://www.who.int/news/item/04-10-2021-interim-statement-on-booster-doses-for-covid-19-vaccination>

プライマリーシリーズ接種

米国での製品表示の指示通り(ファイザー社/ビオンテック社ワクチン、モデルナ社ワクチンの場合は2回接種、ヤンセン社ワクチンの場合は1回接種)にワクチン接種スケジュールを終えることをプライマリーシリーズ完了(completion of a primary series of the vaccine)と呼ぶ。免疫低下状態の人への3回目接種は、プライマリーシリーズ内の3回目接種(a third primary series dose)の扱いである。2021年9月22日付でFDAはプライマリーシリーズ完了後6カ月以降の1回ブースター接種(a single booster dose administered at least 6 months after completing the primary series)を承認している。

<https://www.fda.gov/media/150386/download>